

第40回 愛知学院大学 モーニングセミナー

**「たかべしげこの朗読から
宮沢賢治の世界をしてみる」
—「なめとこ山の熊」から考えてみよう…
現代社会を！—**

名古屋音楽大学 大学院

教授 たかべ しげこ (演出家・俳優)

平成21年7月14日

ニジロ

からすといざう

ゆうやけが

あんまりきれいだったりすると

おれしんとしたニジロになる

ゆうやけのとニロへいって

はなしあいたくなる

なにを はなすかっていうと

あかちゃんだったときのニとかせ

しょうらいどうなるかってニとかせ……

いつもニんない

おもわないんだぜ

……

おれニジロ

いはいもっているんだな



てれるぜ

かまきりりゆづじ

もちろん おれは

のはらの たいしよつだぜ

そうとも おれは

くさむらの えいゆうだぜ

しかしなあ

おれだって

あまつたれたいときも

あるんだぜ

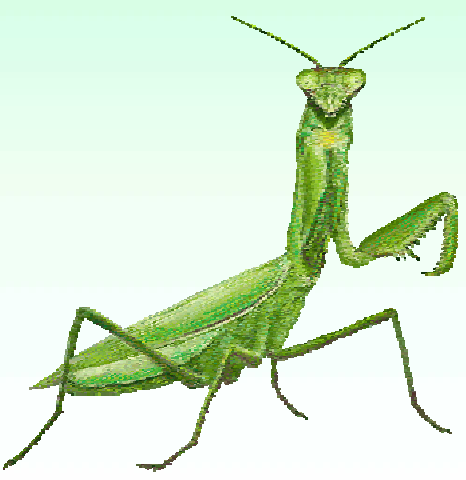
そんなときはなあ

おんぶしてほしそつな

かつこになつちまつてなあ

.....

てれるぜ



はっけん

ぶくろうげんぞう

よるになると

あたまも めのたまも ひかっできて
いろんなことを はっけんする

ゆうべは

「うちゅうのぶと」ろは がかい
わしのぶと」ろも がかい」
という」ことを はっけんした

しんはっけんであった



かたつむりのゆめ

かたつむりでんきち

あのね ぼく

ゆめのなかでは、ね

ひかりのように はやく

はしるんだよ



まっすぐいじりて

いのししさんた

ぼくのもくひょうは

まっすぐはじめるじゃ

それもただの

「まっすぐ」じゃない

うんとまっすぐ

とにかくまっすぐ

すぐくまっすぐ

だんぜんまっすぐ

とてもまっすぐ

しっかりまっすぐ

じつにまっすぐ

きつちりまっすぐ

なのだ

ではよいいぞん！



すねちやうひ

あらいぐまげん

なんだか さびしいな

ためいき ばかりでる

おなか すいたからかな

こんなひは なぜだか

うしろむきに すわちやうな

いしころ けとばしたくなるし

みず かきまわしたくもなる

あのこに あったって

ふんっ！って いっちやうんだよな

いいもん いいもん

ぼくだって

すねちやうひ あるんだもん



「あらよっ」のとき

「りすすみえ

はずかしがりやの わたしですが
ときどき だいたんです

えだからえだへ
とびつくとんです

しっぽひろげへ

「あらよっ」よこします

そのあとまた

はずかしがりの わたしです



「おごい」

からすえいぞう

はだかのえだに「こしかけて

きたかぜのぼうずが

ひゆうめそめそとないていた

まい「こ」になったらしい

「よしまかせとけ」

おれは ぼうずをおんぶして

きたへむかって とんだ

あいつ すぐげんきになって

「おにいちゃん おにいちゃん」って

おれのこと よぶんだ

そのよる おれのせなかは

ちよっぴりつめたくて

くしゃみばかりでたけど

あいつの「おん

おんぶ」にしてもいいな

